

交通事故による死者の約半数が高齢者です

交通事故による死者の半数が高齢者です。また、幼児や児童は通園・通学時に事故に多く遭っていることが報告されています。子供と高齢者本人が危険を知ることと、周囲の思いやりが大切です。

高齢運転者による死亡事故も多く発生しています

運転に不安がある場合には、運転免許証を自主的に返納する制度があり、返納者に対する公共交通利用時の支援等も用意されています。お近くの運転適性相談窓口や市区町村にご確認ください。



子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止

お酒を飲んだら絶対に運転しない

わずかなお酒でも、運転能力・判断能力を鈍らせるおそれがあります。「ちょっとだけ」の軽い気持ちで、重大な事故につながります。「乗らない」、「乗せない」、「飲ませない」を守りましょう。

飲酒運転の根絶



夜間はライトは必ず点灯！反射材を活用しましょう

夕暮れ時や夜間の見えにくい時間帯は、自分の位置を知らせることで、事故を防ぐことができます。自転車のライト点灯や反射材が、あなたを守ります。



反射材なし

反射材あり

夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

シートベルトはどこに座っても必ず着用



乗車中に事故で亡くなった人のうち、シートベルトを着用していない人は、着用者に比べて致死率が14.5倍にもなります。どの座席でも必ず「シートベルト着用」、6歳未満の幼児は「チャイルドシート使用」してください。「チャイルドシート」は国の安全基準に適合したものを選びましょう。

適合したシートには、以下のいずれかの表示があります。

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



※「E43」以外の番号の製品も安全基準適合品です。

9月30日(土)は「交通事故死ゼロを目指す日」です



秋の全国交通安全運動

平成29年9月21日(木)から30日(土)まで